

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 16 年 10 月 28 日 (2004.10.28)

【公表番号】特表 2000-515060 (P2000-515060A)

【公表日】平成 12 年 11 月 14 日 (2000.11.14)

【出願番号】特願 平 10-505174

【国際特許分類第 7 版】

B 0 6 B 3/04

B 0 6 B 1/02

B 2 3 K 20/10

【F I】

B 0 6 B 3/04

B 0 6 B 1/02 K

B 2 3 K 20/10

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 11 月 4 日 (2003.11.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 手 続 補 正 書

平成15年11月 4 日

特許庁長官 今 井 康 夫 殿

## 1. 事件の表示

平成10年特許願第505174号

## 2. 補正をする者

名称 ミネソタ マイニング アンド マニユファクチャリング  
カンパニー

## 3. 代 理 人

住所 〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル

青和特許法律事務所 電話 03-5470-1900

氏名 弁理士(7751) 石 田

敬



## 4. 補正対象書類名

請求の範囲

## 5. 補正対象項目名

請求の範囲

## 6. 補正の内容

請求の範囲を別紙の通り補正する。

## 7. 添付書類の目録

請求の範囲

1 通

万 式 査  
審 査

### 請求の範囲

1. 選択した波長、周波数および振幅でエネルギーを付与する回転式音響ホーン (10、10'、10''、10''') であって、

軸方向入力端部 (11) と、軸方向出力端部 (13) とを有する基部と、

前記基部に作用可能に接続された複数の溶接面 (16) を具備し、

各々の溶接面 (16) が、前記基部の直径より大きく、前記基部の前記入力端部 (11) に音響エネルギーを付与することにより拡張および縮小する直径を有し、

前記溶接面 (16) が、互いに間隔を置いて配置され、互いに直列または並列の何れかで取り付けられている、

回転式音響ホーン (10、10'、10''、10''')。

2. 隣接する溶接面 (16) の中心点間の距離が、ホーン材料の1/2波長の少なくとも1倍である、

請求項1記載の回転式音響ホーン (10、10'、10''、10''')。

3. 選択した波長、周波数および振幅でエネルギーを付与する回転式音響ホーン装置であって、第1および第2回転式音響ホーン (10、10'、10''、10''') を備え、

各ホーンが、軸方向入力端部 (11) と、軸方向出力端部 (13) とを有する基部と、

前記基部に作用可能に接続された複数の溶接面 (16) を具備し、

各々の溶接面 (16) が、前記基部の直径より大きく、前記基部の前記入力端部 (11) に音響エネルギーを付与することにより拡張および縮小する直径を有し、

前記溶接面 (16) が、互いに間隔を置いて配置され、互いに直列または並列の何れかで取り付けられていて、

第1ホーンの溶接面 (16) が、第2ホーンの隣接溶接面に対して、溶接が行われるアングルの幅を完全に覆うのに十分な距離だけずらして配置される回転式音響ホーン装置。